

● 顕現後第八主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十六編」

主よ、あなたの裁きを望みます。

わたしは完全な道を歩いてきました。

主に信頼して、よろめいたことはありません

主よ、わたしを調べ、試み

はらわたと心を火をもって試してください。



罪を赦すお方

ある日、キリストが教えておられると、そこにはあらゆるところから集まって来たファリサイ派、律法の教師たちも座っていました。キリストは主の力によって病人をいやしておられました。すると、男の人たちが中風の人を床に乗せて運んできたのですが、群衆に阻まれて家の中へ入ることができませんでした。そこで男たちがとつた行動は、その病人を床ごと屋根の上へ運ぶということでした。そしてその屋根を剥がして、床ごと病人を天井からつり降ろしたのです。彼らは人の家が壊れることなど気にもかけず、唯々その病人を主のところへ運びたい、いやしていた方がいい、その一心だったようです。我を忘れてそこで私を助ける友がいたら、その人は辛い人だと思ふのです。そのことを思いつつ、また「あなたも人にしてもらいたいことを何でも人にしなさい。これこそ律法と預言者である」（マタイ7章12節）と教えられた御言葉をも思い起こすのです。

ところが、中風の人を運んだ男たちの信仰を見て、キリストは病人に「人よ、あなたの罪は赦された」と言われました。天井からつり降ろされた人が今日の前にいて、すべての人の目が彼のいやしを期待し、注目する中、あなたの罪は赦された」と言われたのです。病人は依然として床に寝たきりのままです。日に見えるところでは何も起こっていないのです。「あなたの罪は赦された」という声だけが響いて、家の中は驚きと共に、シーンと静かになっていったと想像します。

そこに集まっていた律法の教師たちは「神を冒瀆するこの男は何者だ。神のほかに誰が罪を赦すことができるのか」とあれこれ考えていたのです。しかもキリストは神殿でもなく、祭壇もなく、祭司でもない、羊の血が流されることもなく、罪の赦しを宣言したのである。

「起きて歩け」と言うのと、あなたの罪が赦されたと言うのとどちらが易しいか」と言われました。人には「起きて歩け」と言うことはできません。言ってもその通りにならないからです。その反面、「罪が赦された」とは、人の目に見える事柄ではないので、言葉だけでのごまかしなら簡単、易しいのです。律法の教師たちはキリストのことばもそのような空しい、自分たちの言葉と同じだと思ひ違ひをしていました。

主は「人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。中風の人に、「起き上がり、床をかついで家に帰りなさい」と言われました。その人はすぐさま立ち上がり、寝ていた台を持ち上げ、神を賛美しながら家に帰っていったのです。それは「あなたの罪が赦された」と言われたことばも、言葉だけではなく、実体のあることを表しています。

キリストの「あなたの罪が赦された」と言われることばは、羊の血による宣言ではありません。ご自身の血を携えたことによる「十字架のことば」です。律法の教師たちの空しい、言葉だけによる宣言ではありません。彼らからは人のために血を流すことはもちろん、中風の人を助けるために、我を忘れて必死に苦勞していた男たちに見られる信仰を見出すことはできないのです。私たちの信仰は、理屈、言葉だけの空しい彼らの不信仰のようではなく、純真、真実を持つ、自分の体のように隣人を愛する、実体のあるものでなくてはなりません。十字架はそれほどの実質を伴う方だからです。

最 後に起きて歩け」と「あなたの罪が赦された」と、私たちはどちらを聞きたいのでしょうか。健康も富も何もかもなくても、「罪が赦された」と言われたい。その貧しい心にキリストの十字架は、「神の力」です。その者は豊かな実を結ぶでしょう。

特別な課題

昼も夜も絶えず私の祈りのうちにあなたを想う
たびに・・・

テモテへの手紙② 一章三節

あなたの御霊が働くところで、

聖なる神よ、

心と口が祈り願うのです、

目覚めさせ、揺り動かしてください

わたしの口と心を。

わたしに恵みを贈ってください

ひとりの人のために祈り願う恵みを、

あの使徒が、テモテのために、

彼が働く器になるようにと祈るように、

わたしたちを

あなたの御国のために準備し、

そのひとりの人を、わたしの心に

留めさせてください。

愛でいますあなた

あなたの愛のうちに

どうか彼のことを考えさせてください。

あなたの愛は、うわべだけでなく
いい加減なものでなく

頭強に、永遠から永遠まで

愛してください。

パウロが、昼や夜の特定の時間に祈ることを習慣としていたという考えは、確かに無意味ではない。だが私はそれを単純にこう説明したい。彼にとつて、いかなる瞬間も全く祈りなしであったことはない。

カルヴァンの言葉

R・ポーレン著 「祈る」より

祈りは楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行して、ロビーでコーヒーマービスがあります。また同舎二階のリズム室では、「ぶどうの会」が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。どうぞご参加ください。

○今週六日（水）からレント（受難節）に入ります。第二礼拝後、ホールで讃美と報告の後、レントを迎える準備の会をします。お昼はお弁当です。

○午後一時半から、教会員懇談会を開きます。一七日の教会総会に提案される議題について、説明と質疑応答をします。今日、伏差しに資料が配付されています。教会員は資料を持ってお集まりください。

○再来週三月一七日は三月教会総会です。来年度の計画と予算を決定する重要な総会です。教会員はご参加ください。なお当日は一〇時からの一回礼拝になります。

○桜台教会の中川牧師が足の手術のために入院されたため、今日は菊池潤牧師が桜台教会で奉仕をします。

○吉村牧師は、明日四日から七日まで、福岡で行われる説教セミナーで奉仕するため出張します。

78

イエスさまが教会を

(家庭礼拝)

詞：吉田直夫、1965

CHRISTIAN HOME

曲：小山重三、1965

♩ = 104

イエスさまが きょうかいを この世から えらひとり
 あたらしい けいやくを たてられた ひのように
 きょうもまた 主のまえに かぞくみな あつまって
 みめぐみに むすばれた このいえを ささげます アーメン

発行数 16101

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1
 イエスさまが教会を
 この世から選びとり、
 あたらしい契約を
 たてられた日のように、
 きょうもまた主の前に、
 家族みなあつまって、
 みめぐみに結ばれた
 この家をささげます。</p> | <p>2
 神さまを「父」と呼び、
 イエスさまを「主」とあがめ、
 み言葉の糧をうけ、
 み教えの水をのみ、
 いつの日も愛し合い、
 いつの夜も助け合う、
 この家のさいわいを、
 ここから祈ります。</p> | <p>3
 主のみ手に守られて、
 みなともに成長し、
 こどもらがこの家を
 築立ちゆくその日にも、
 愛の主よ、みすくいの
 よろこびをあかしして、
 かぎりなくみこころに、
 そうものとしてください。</p> |
|--|--|---|

訳詞番号 1812759 801)

聖書の会へどうぞ

3月6日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「権威ある新しい教え」

マルコ1章21節〜28節

菊池美穂子 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「真理を行う者は光の方に」

ヨハネ3章1節〜21節

黄允浞 副牧師

ミニコンサート

3月7日(木) 12時30分より

ピアノ 原田信次郎 「メロディーション」

次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 II 59番 II 78番

説教 「悪魔の誘惑を受ける主イエス」

聖書 ルカ4章1〜13節

説教者 吉村和雄 牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 137番 239番

詩篇 26篇

説教 「嬉しい知らせ」

聖書 マルコ1章14〜15節

説教者 菊池美穂子 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 II 59

II 78

説教 「食べ物を与えなさい」

聖書 ルカ9章10節～17節(新約 P121)

司式 石川一兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「こども神のみ国なれば」 J.カステルノー

○ II 59 「すべてのもの統らすかみよ」

1. すべてのもの統らすかみよ

み名をたたえ ほめうたささぐ

みめぐみゆたけく 正義みつる

かみこそわれらの盾、また巖

2. よろこびもてささげまつる

うみはたかく みくらにとどき

ものみなどよみて こたえうたわん

「かみにぞみさかえ ときわにあれ」と

3. わが主イエスにしたがいゆき

こころひくく 日あてはたかく

この世にわが主のみ旨のなる

その日をのぞみて われらいそしまん アーメン

○ ヴィオラによる讃美

「ただ憧れを知る人だけが」 P.L.カコフナー

○ II 78 「イエスさまが教会を」 (3面に楽譜があります)

1. イエスさまが教会を この世から選りとり

あたらしい契約を たてられた日のように

きょうもまた主の前に家族みなあつまって

みめぐみに結ばれたこの家をささげます

2. 神さまを父と呼び イエスさまを主とあがめ

み言葉の糧をうけ み教えの水をのみ

いつの日も愛し合い いつの夜も助け合う

この家のさいわいを こころから祈ります

3. 主のみ手に守られて みなともに成長し

こどもらがこの家を 築立ちゆく その日にも

愛の主よ みすくいの よろこびをあかして

かぎりなくみこころに そうものとしてください

アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 80番 335番

詩篇 第26編(旧約 P856)

説教 「人は独り」

聖書 マタイ10章34節～42節(新約 P19)

司式 石川一兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允湜 副牧師

前奏曲「きよけき心を」 S.カール=エラト

○ 讃美歌 80番

○ ヴィオラによる讃美

「ただ憧れを知る人だけが」 P.L.カコフナー

○ 聖歌隊による讃美

「神こそわが力」 W.H.モク

神こそわが力 わが救い わが歌ぞ

み神はわが歌 み救いとなり給えり

義のかどを開き給え 我は入りて神に對し

ほめ歌をささげん

石造りの捨てたる石は 捨てたる石は

隅の隅の 親石となれり 親石となれり

今日ぞ 主の給える 主の給える良き日

いわ我ら楽しまん 我ら喜びて楽しまん

ハレルヤ アーメン

○ 讃美歌 335番

聖餐曲「魂の花婿」 S.カール=エラト

後奏曲「アレグロ・コン・プリオ」 F.メデアズー

聖餐曲「シャコンヌ」 H.バーク

後奏曲「アレグロ・コン・プリオ」 F.メデアズー

* 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お共もくください。